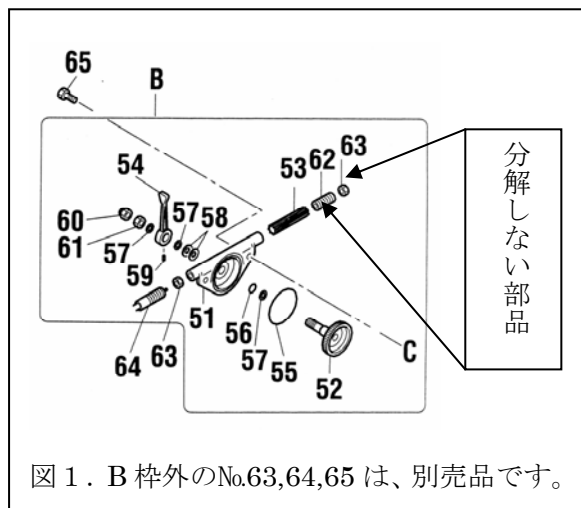


MT、MVC、MVH型三笠専用

調速レバーAss'yの組付方法

調速レバーには、調速ワイヤーが組み込まれていません。

調速レバーは、仮組み状態です。一度、穴付止ネジ（62）及びナットM8（63）以外の部品を全て分解して下さい。（図1）

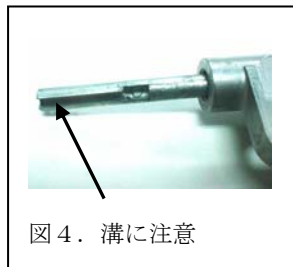


<注意1>

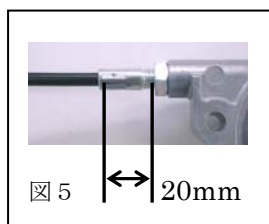
穴付止ネジ（62）、ナットM8薄型（63）を分解した場合は、図2の様に「穴付止ネジ」と「ナットM8薄型」がツライチで組付ける。（図2. 図3）



[組付け手順]



1. スライダー(53)をスロットルボディ(51)に溝を後にして挿入する。
(図4)



2. 調速ワイヤー(64)の OUTER を組付ける。(図5)

(調速ワイヤー (インナー) の先端が曲がっている場合などは、下記3. 4. 項をふまえて結果が図8. の状態になる様に調速ワイヤー (インナー) を一緒に組んで下さい。)



3. 調速ワイヤー (64) のインナーをスロットルボディ (51) から挿入する。(図6, 7)
4. 調速ワイヤー (アウター) から出たインナーのエンド (端) を引っ張りながら回転させ、スライダーのギヤを歯面が見える様にする。(図8)



図9. スロットルギヤ他

5. スロットルギヤに平ワッシャー (57) と O リング(56)を組付ける。
(図9.)



図10.インナーを引っ張る

6. スロットルギヤ(52)をスロットルボディ(51)に組付ける。
① 調速ワイヤー (インナー) を押し込み、スライダ(53)を一番奥の端に寄せる。(図10.)



図11. ▲印

② スロットルギヤの▲印を真上にして組込む。(図11.)

7. スロットルボディ(51)にスロットルレバー(54)を組付ける。
(図12. 13)

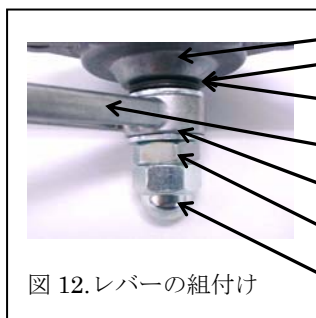


図12.レバーの組付け

スロットルボディ(51)
皿バネ(58) 2枚 ※皿バネは、互いに向き合う様に組込む。
平ワッシャー M10 (57) ※スロットルレバーの締付硬さは、ナット M10 と袋ナット M10 で調整する。
スロットルレバー(54) スロットルレバーの動きをキツクしたい場合は、奥側に平ワッシャー M10 を追加して下さい。
平ワッシャー M10 (57)
ナット M10 (61)
袋ナット M10 (60)



図13. 穴付止ネジ

※ 穴付止ネジ(59)を締め込み、スロットルレバーをスロットルギヤに固定する。
組込み後、スロットルレバーが図13の様に真上に来た所で止まる。
MT型ランマーは、その位置がエンジンスロー位置。
MVC型及びMVH型は、その位置がエンジン最高速回転の位置。